

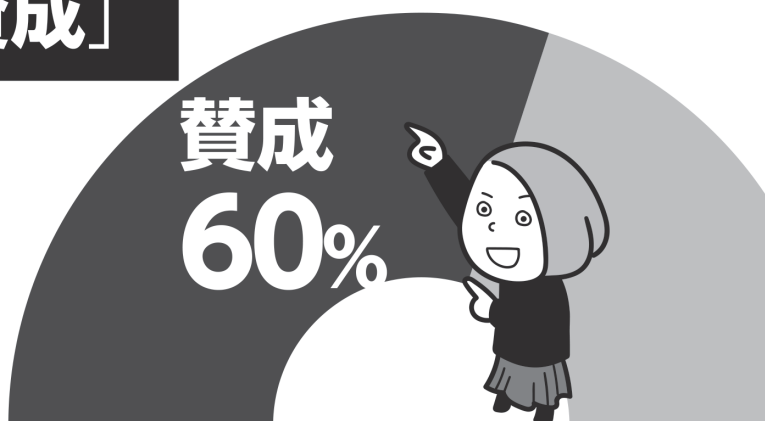
今が
変えどき

選択的 夫婦別姓へ 進もう！



衆議院の6割が「賛成」

抵抗勢力が続々と落選し、新しい国会で念願の選択的夫婦別姓の実現が一気に近づいています。経済界も含め、世論も賛成が多数派です。世界で唯一の「同姓強制」から、選択的夫婦別姓へ、今がチャンスです。



世論

賛成7割
地方議会意見書
426件

経済界 経団連

「早期実現を」

国連 女性差別撤廃 委員会

導入へ勧告4回
「日本政府は何も
行動していない、



あなたも一緒に行動しましょう！

選択的夫婦別姓 署名 地方議会

検索

日本共産党

自民党が反対する
のはどうして？



別姓でも同姓でも

「選べる」自由が 欲しいだけ!



1

改姓の95%が 女性

2

なぜ自民党は反対?

「家族の一体感が損なわれるから」と言って、戦前の古い「家制度」にしがみつき、別姓に頑強に反対する統一協会と関係を断てないからです。でも、「一体感」は「同姓の強制」では生まれません。`特殊な家族観、で国民を縛るのは、もうやめるときです。

「契約書にサインできない」「この姓で頑張ってきた人生を尊重して」——この声にこたえるには「旧姓の通称使用の拡大」(自民党)では不十分。法改正が必要です。

3

ジェンダー平等を 党綱領に明記



日本共産党は、党の大方針に「ジェンダー平等」と書き込み、国会でも地方議会でも、ジェンダー平等の実現へ市民のみなさんと力を合わせて、全力でとりくんでいます。

党首討論で選択的夫婦別姓実現を
求める田村智子委員長(6月19日)



あなたにお願い!

このフライヤーやInstagramの
バナーを広めてください



Instagram